

# 5月の果実の見通し

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比 見込 (%)	5か年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5か年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
いちご類	2,351	96	2,429	836	98	761	0	0.0	栃木、福岡、佐賀、静岡産中心の入荷となる。4月上中旬の天候不順の後高温が続いたので、5月は入荷量が少なくなる見込み。また、小玉が多くなり、価格はやや安めとなる見込み。
びわ	203	82	172	1,363	118	1,424	-	0.0	長崎、千葉産中心の入荷となる。主力の長崎産は前年の天候不良により花芽が少なく、5月連休明けから露地物が始まってくるが、増量のペースは鈍く、5月下旬は品薄になる見込み。入荷減から価格は前年を上回るが、高騰することなく堅調推移。
おうとう	58	95	154	5,451	101	3,289	49	84.5	本年は他品目の品薄感もあって比較的レギュラーパックの動きが良く、その流れが5月にも継続される見込み。
すいか類	6,421	91	6,161	258	100	242	-	0.0	熊本、千葉、茨城産が中心となる。春先より曇天低温が続いており、熊本産大玉すいかの出荷量は伸び悩んでいたが、4月下旬からゆるやかに増加している。5月上旬にはまとまった数量が見込まれるが、交配時期の天候不順で全体的な入荷量は前年を下回る見込み。5月中旬から千葉産が始まる予定。消費地の気温上昇につれて引き合いは強まり、安定した価格推移が見込まれる。
メロン類	3,760	94	3,575	495	102	468	-	0.0	茨城、熊本、静岡産が中心となる。曇天冷え込みで作柄はよくない。熊本産は4月下旬からアンデス、5月上旬からクインシーがピークを迎えるが、肥大が進んでおらず小ぶりのため、出荷量は前年を下回る見込み。茨城産オトメが4月下旬から、数量がでてくるが、出荷量は前年より少なめ。茨城産アンデス・クインシーは5月になれば本格化し、中旬以降は潤沢な入荷が期待される。
マンゴー	140	90	122	3,072	101	2,999	-	0.0	宮城県産が殆んどを占める。宮崎県は昨年秋の天候不良から生育が1～2週間遅れており、4月上旬までの出荷量は前年を下回っていた。しかし4月中旬には「太陽のたまご」も始まり、数量は一気に増えたが取引も活発化した。5月は付を通じ安定した価格推移となる見込み。